

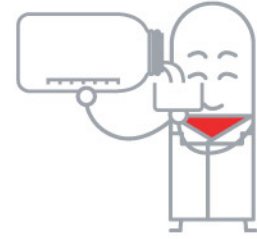
シロップ剤 (水薬)



シロップ剤は飲みやすくするために甘味、香料が加えてあります。一般に水で薄めていたり、何種類も薬を混ぜていたりするので傷みやすいです。原則として指示された期間を過ぎたら捨てましょう。

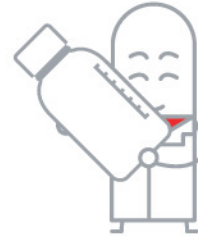
1. ゆっくり振って成分を均一にする

薬の成分が底に沈んでたまっていることがあるので、飲ませる前に容器を振って薬の成分を均一にする必要があります。ゆっくり振ると、泡が立たず、薬の量もはかりやすくなります。



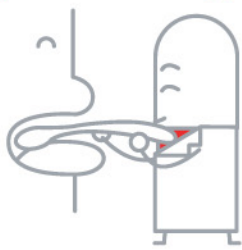
2. 薬の量は正確にはかりましょう

薬は処方された、ぴったりの量を飲ませることがたいせつ。目盛りを真横から見て、正確にはかりましょう。シロップに計量カップがついている場合はそれではかります。スポイトを使うとより正確にはかれます。



× ピンから直接飲ませることは避けましょう。唾液が混ざり不潔になることがあります。薬の容器は常に清潔に保ってください。

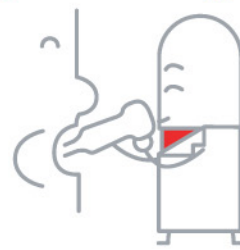
[スプーンで飲ませる方法]



離乳食が進んでいる赤ちゃんには、スプーンで静かに流し込むのもいいでしょう。一度に入れず、少量ずつゆっくり流し込みましょう。スプーンで奥の方に入れてあげるとゴクンと飲める赤ちゃんもいます。(このとき唇

に近いところだと味が分かって出してしまうことがあるので、味がわかりにくく、また舌で出してしまうにくい奥の方がいいでしょう。ただ、一度に多く入れてしまうとむせやすいので焦らず少しずつ。)

[スポイトで飲ませる方法]

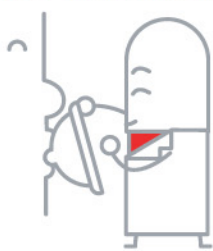


とくに低月齢の赤ちゃんには、スポイトを使ったほうが与えやすいかも。薬をスポイトで吸い上げ、口の中にタイミングよくそっと流し込みます。(ほっぺの内側は味がわかりにくく、舌で出しにくいので、ほっぺの内側に流し込む

と飲ませやすいようです。ただ、のどの奥の方に入れてすぎると、咳き込みやすいので注意。)あっという間にすませられるので、いやがる子でも効果的。

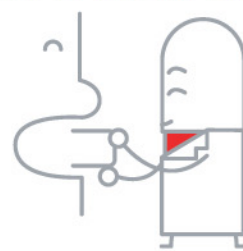
飲ませ方

[乳首で飲ませる方法]



ふだんから哺乳びんに慣れている赤ちゃんには乳首を使うとよいでしょう。空の乳首を口に含ませ、吸いはじめたらそこに薬液を入れて吸わせます。

[小さな容器で飲ませる方法]



コップに慣れている赤ちゃんだったら、小さいカップを使って少しずつ与えてもOK。おちょこなどでも代用できます。小さめの容器でクイツと一気に飲むほうが飲みやすい子もいるようです。

★ 直接口を付けた容器はきれいに洗い、水気を切って保管してくださいネ。

× 薬をミルクと混ぜると、味が変わってミルク嫌いになることがあるので、避けましょう。

★ シロップ剤は、冷蔵庫(冷蔵室)に保管することを強くお勧めします。

お助け商品(薬局でお求めいただけます。)



スポイトタイプ



乳首タイプ



噴霧タイプ

ご注意) これらの商品を保証および推薦するものではありません。

ここにご紹介した以外の飲み方やご質問については、薬剤師にお問い合わせください。